



代表取締役社長

鯉江 泰行

「水」で培ってきた確かな技術で 持続可能な社会に貢献します。

国際連合が2015年に採択したSDGs(持続可能な開発目標)の2030アジェンダには、17の目標が書かれており、一番目の目標が貧困の根絶です。一企業の事業活動から見ると距離感のある社会問題とも捉えがちですが、このSDGsの目標を達成するには、企業の主体的な役割が不可欠のようです。私たちはこれまで企業の社会的な役割を、収益の中から寄付をする、従業員に町の清掃をしてもらうといったことだと理解してきました。しかし、グローバルな視点に立った貧困を始めとする多くの目標を達成することは、これまでの活動では明らかに不十分です。

オルガノは創業以来、水をきれいにする装置やシステムを開発して、社会に提供してきました。日本の産業に必要とされる工業用水をつくる装置や排水を浄化するシステムは、産業振興と環境保全に寄与すると自負しています。しかし、これは、SDGs目標のほんの一部でしかありません。あらためてオルガノの役割はどうあるべきかを長期的な観点から再考しました。それがオルガノの経営理念であり、長期経営ビジョンです。

現在でも世界には安全な水が入手できない人たちが大勢います。人口増加する将来の世代が必要とされる水はさらに不足すると言われています。さらに、気候変動によって世界では水がますます偏在するようになってくるでしょう。

貧困を解決するためには、環境に負荷をできるだけ掛けないように経済発展して行かなければなりません。オルガノは、海外とりわけ発展途上国や新興国に目を向け、水を通して産業発展や安全な生活の確立にいささかでも貢献したいと考えています。オルガノが国内の事業で培ってきた技術は、色々な産業が必要とする水の調達や排水からきれいな水を再生回収して再び利用することに活用できるはずです。オルガノは2030年までにこれらの貢献ができるよう、必要とされる人に水を届けられるよう事業を展開します。

しかし、オルガノだけで経済発展を支えることも、多様なSDGs目標にアプローチすることもできません。異なる生活文化や産業構造の中でオルガノが貢献できるとしたら、それはその地、その地でのニーズを的確に捉え、合理的な水処理技術を開発し、選択することです。そのために世界の人々や企業とのパートナーシップが欠かせません。

かつて日本は環境を犠牲にして経済発展に邁進したことがありました。今私たちは環境と経済発展を両立する持続可能な開発ができると信じています。この経験と技術を必要としている国、地域に移転して行くことが肝要です。そこで人材が育成できれば、経済の発展とともに対応力が向上して行くでしょう。新興国では先端産業が勃興しています。オルガノは必要とされる先端的な水技術をたゆまず開発し続け、提供していきます。

これらのオルガノのミッションは容易いものではないと理解しています。多くの人たちの英知とパッションをいただけるのなら必ずしや達成できると確信しています。

CONTENTS

オルガノグループの紹介

トップメッセージ	1
目次／編集方針・報告範囲	2
オルガノのミッション	3
経営理念・長期ビジョン	6
中期経営計画	7
事業内容	8
暮らしの中のオルガノ	11

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンス	13
コンプライアンス	15
リスクマネジメント	15
労働安全衛生	16
BCP(事業継続計画)	16

ステークホルダーとのつながり

ステークホルダーとのつながり	17
株主・投資家とのつながり	17
お客様とのつながり	18
お客様ニーズに合わせた製品・サービス	18
取引先・購入先とのかかわり	19
社会とのつながり	19
社員とのつながり	20

環境への取り組み

環境基本方針／環境マネジメント体制／環境教育	22
エネルギー・廃棄物	23
製品を通じた環境保全活動	25

グループ概要

事業所紹介	28
会社概要	29

編集方針・報告範囲

●オルガノグループは、2015年度まで、環境報告書として、各種環境活動の報告を行ってまいりましたが、2016年度の活動報告よりCSR報告書としてまとめ、環境保全活動のみならず、企業の社会的責任を果たすための他の取り組みについてもまとめて報告いたしました。

本報告書を通じて、当社グループの取り組みの一環をご理解いただければ幸いです。

●オルガノ株式会社(開発センター、つくば工場、いわき工場を含む国内事業所)が報告の主体ですが、一部、国内関連会社(オルガノプラントサービス株式会社、オルガノフードテック株式会社、オルガノエコテクノ株式会社、オルガノアクティ株式会社、株式会社ホステック、東北電機鉄工株式会社)を報告の範囲とします。

●発行月

2019年5月(次回発行予定 2019年10月)

●発行責任・問い合わせ先

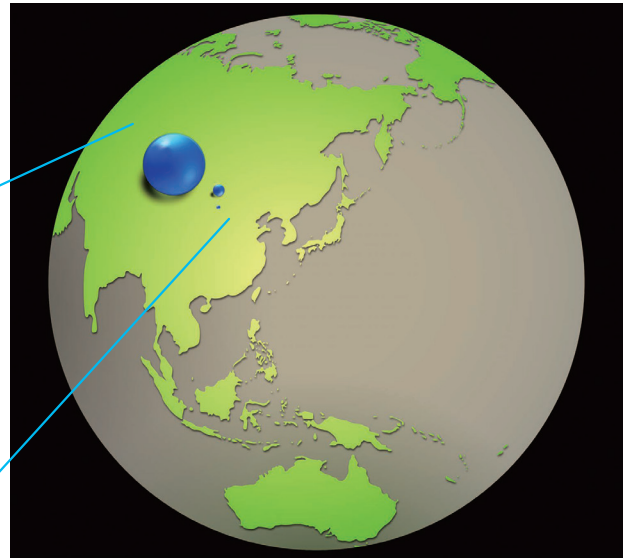
オルガノ株式会社 経営企画部 CSRグループ
東京都江東区新砂1丁目2番8号

地球の水資源

地球の水

水の惑星ともいわれる地球。地球の水は水蒸気、河川や湖沼、氷河、土壌の水分、そして帯水層の地下水として存在します。宇宙から見ると地球表面の約71%は水で覆われており、海は地球の全水量の約97%を占めています。しかし、大量にあると思われる水も一か所に集めると、地球の直径12,756kmよりも、はるかに小さい直径1,380kmの水球になります。そして、その中でも海水以外の淡水は隣の小さな水球(直径285km、全水量の2.5%)にすぎません。これらの多くは地下水であり、利用しにくい水です。わずかに見える微小な水球(直径56km、全水量の0.01%)だけが、私たちがアクセスしやすい地表の淡水です。豊富にあるように見えながらも水は貴重な資源です。

水の種類	存在割合
海水など塩分を含む水	97.47%
淡水(氷河、地下水)	2.53%
淡水の表層水(河川水など)	0.01%



国土交通省「平成21年度版日本の水資源」、US Geological Survey(アメリカ地質調査所)資料を基に当社作成

暮らし、産業と水

人類は、自然資産である水を日々の暮らしや産業に利用し、自然界の浄化能力に依存しながら生活を営んできました。過去には自然の浄化能力を超えた汚濁によって公害問題が深刻化した時代もあり、国内では法整備や浄化技術の普及によって改善に向かっていますが、海外では経済発展に伴う汚濁負荷増加で問題が深刻化している地域もみられます。経済発展に良質な水の調達は必須であり、水資源を効率よく利用し、利用した後は地球環境や生態系への影響を最小限とするように処理することが求められます。望まれるのは、それぞれの地域が抱える水問題に真摯に向き合い、健全な産業の振興を促し、経済的に環境保全対応力を持つこと。当社グループの水処理技術がこれらの一助になることを願い、事業に取り組んでいます。

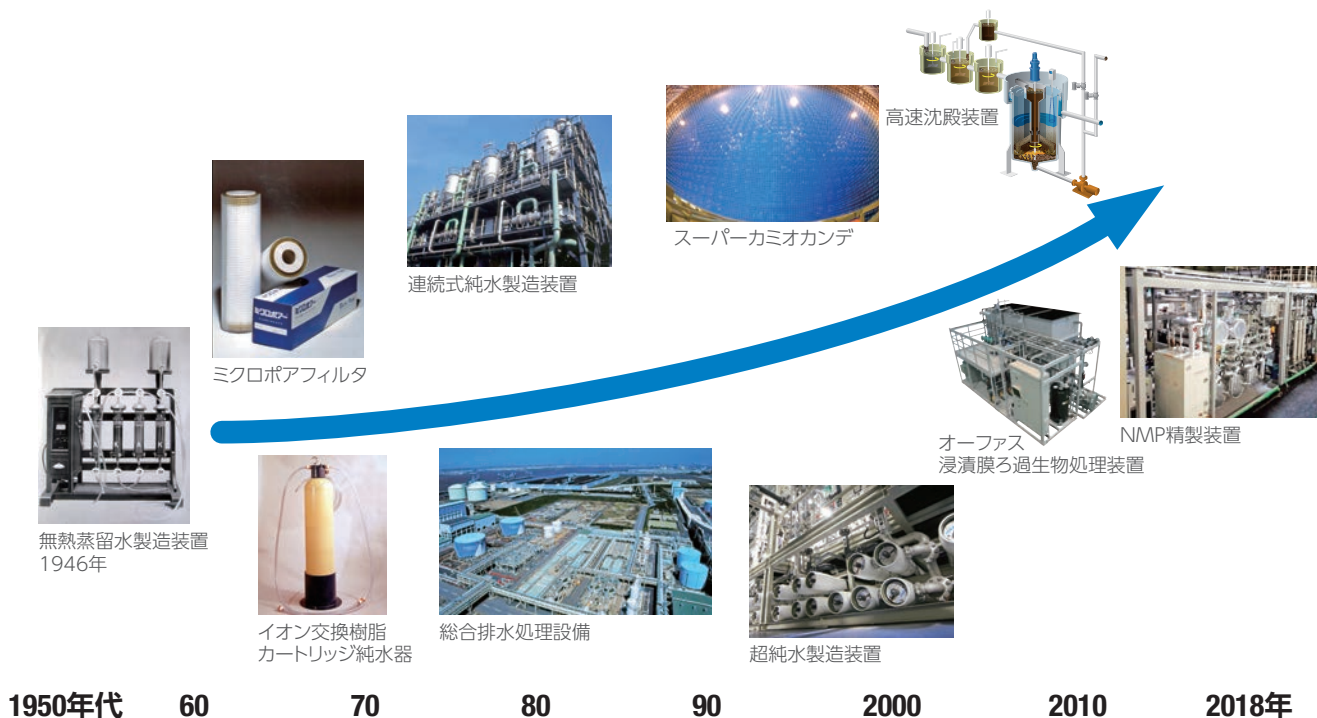


オルガノの水処理

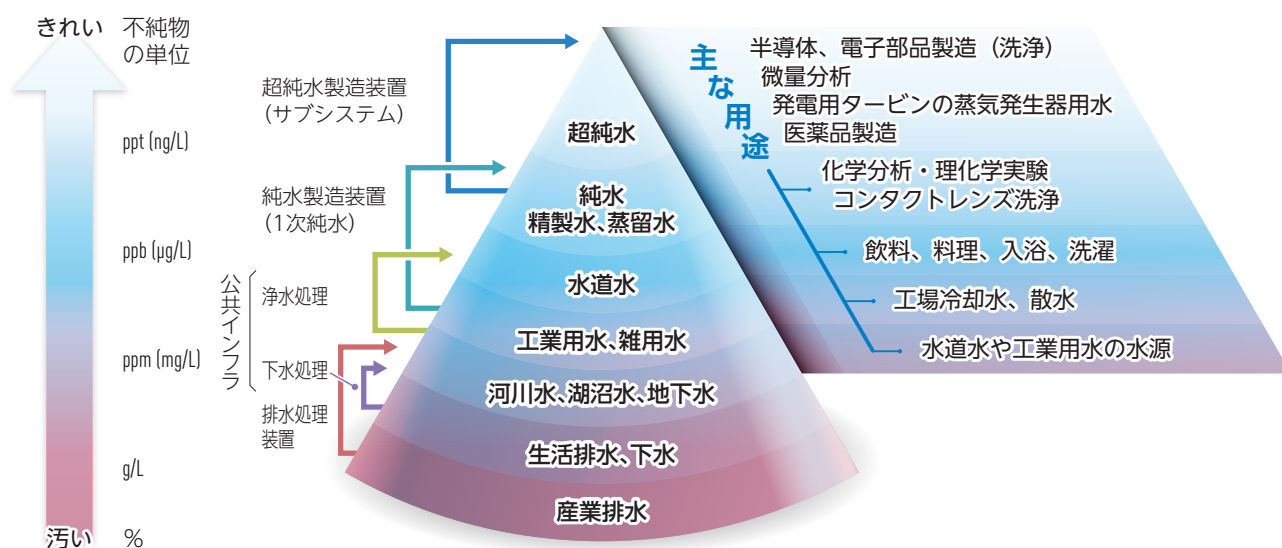
オルガノグループは産業と生活が必要とするきれいな水に処理すること、排水を浄化して環境に戻すことを主力事業としています。1946年の創立以来、常に水と共にあり、産業と生活に必要なとされる水のニーズに応えてきました。熱エネルギーを用いずにイオン交換樹脂を用いて蒸留水と同等の水を得る装置を開発、無熱蒸留水を製薬会社、病院、研究所に販売することをきっかけにラインアップの拡充を進めてきました。

工場で用いる純水製造や排水処理、水のリサイクル、排水中からの有用成分の回収など、幅広い水処理を手掛け、産業やインフラのパートナー企業として産業や日々の暮らしの発展を側面から支える役割を担っています。

水の高純度化、分離精製と共に歩んだ72年



様々な分野に展開する水処理技術 -水のグレードと用途-



水にかかわる社会課題の解決から、持続可能な社会の実現へ

地球規模の大きな水循環の中に、生活や産業を含む小さな水再生循環のループを構築し、水を有効利用しながら、環境を損なわない健全な経済発展に寄与することが当社に望まれる役割といえます。

持続可能な開発目標 SDGs (Sustainable Development Goals) は、2015年に国連で採択され、国連加盟国が2030年までに達成するために掲げられた17の目標と169のターゲットから構成されます。

当社事業と関わりが深い「安全な水と衛生の確保」は、第6番目の目標とされています。しかし、水は他の多くの目標とも関連が深く、例えば、貧困の撲滅に不可欠な経済発展に良質な水の調達は必須で、食糧の安定確保にも水は欠かせません。医療制度を支え、健康な生活を維持するのにも安全な水が必要です。また、陸上の生態系の保護にも水の管理が重要で、陸上で的人类活動で大量に排出される生活排水や産業排水を適切に浄化するシステムも海洋の保護のために欠かせません。

当社グループは、水を中心に自らの役割を理解し、主体的に他のSDGs目標への関与と関心を強めていかなければならないと考えています。



1	貧困の根絶
2	飢餓の根絶
3	健康と福祉の促進
4	教育の促進
5	ジェンダーの平等
6	水と衛生の確保
7	エネルギーをクリーンに
8	適切な雇用の促進
9	持続可能なインフラと産業
10	国内・国家間の不平等の是正
11	持続可能な都市と居住
12	持続可能な生産と消費
13	気候変動の対策
14	海洋資源の保全
15	陸上生態系・森林の保全
16	平和で包括的な社会の促進
17	パートナーシップの強化

オルガノのミッション

産業・生活に求められる
水関連技術・製品の提供

社会インフラ	発電所用水
	飲料水(海水淡水化等)、下水
産業	生産用水
生活	食品原料・原水
	医療用水
環境	排水処理・排水回収(ZLD※)
	低環境負荷技術 (省エネ・CO ₂ 排出量削減・ 資源有効利用等)

※ ZLD (Zero Liquid Discharge) : 排水を回収・再利用し
外部に排出しないシステム

事業と直接関連する目標

6 安全な水とトイレ
を世界中に



水と衛生の確保

すべての人がきれいな水
を利用できるように

経営理念・長期ビジョン

オルガノが社会の中でどうありたいのか、何を目指していくのか、オルガノとしての存在意義を見つめなおし、2018年4月に新しい経営理念と長期ビジョンを制定しました。将来のあるべき姿、達成すべき将来像に向かって、社員一人ひとりが自覚し行動することで、望ましい企業文化を作りあげていきます。

経営理念

オルガノは
水で培った先端技術を駆使して
未来をつくる産業と社会基盤の発展に貢献する
パートナー企業としてあり続けます

長期経営ビジョン

付加価値の高い分離精製・分析・製造技術を基に
事業領域と展開地域を拡大し、産業と社会の価値
創造と課題解決を推進する製品・サービスを絶え
ず提供します。

昨日までのやり方を、明日に向けて、今日変える
人をつくり、一人ひとりが働きがいと活力に満ち
た企業を構築します。



新しい経営理念は、「より会社の方向性を明確にするもの」、新規に策定した長期経営ビジョンを「10年後のオルガノの姿をイメージして開発を促すもの」としました。変化を続ける自然環境、社会環境、事業環境の中で、オルガノは従業員一人ひとりが、その他のステークホルダーの方たちと、変化を見つめ、創意と工夫を重ねてよりよい環境の確立、維持を目指します。

SDGsの達成をめざす社会の色々な立場の方から、オルガノがパートナーであると認識されるような活動を推進します。なお、長期経営ビジョンには水処理エンジニアリング事業をコアとしながら、水を超えてオルガノの役割をさらに広げ、分離精製・分析・製造技術を強みとし、働きがいのある会社になろうとする思いが込められています。

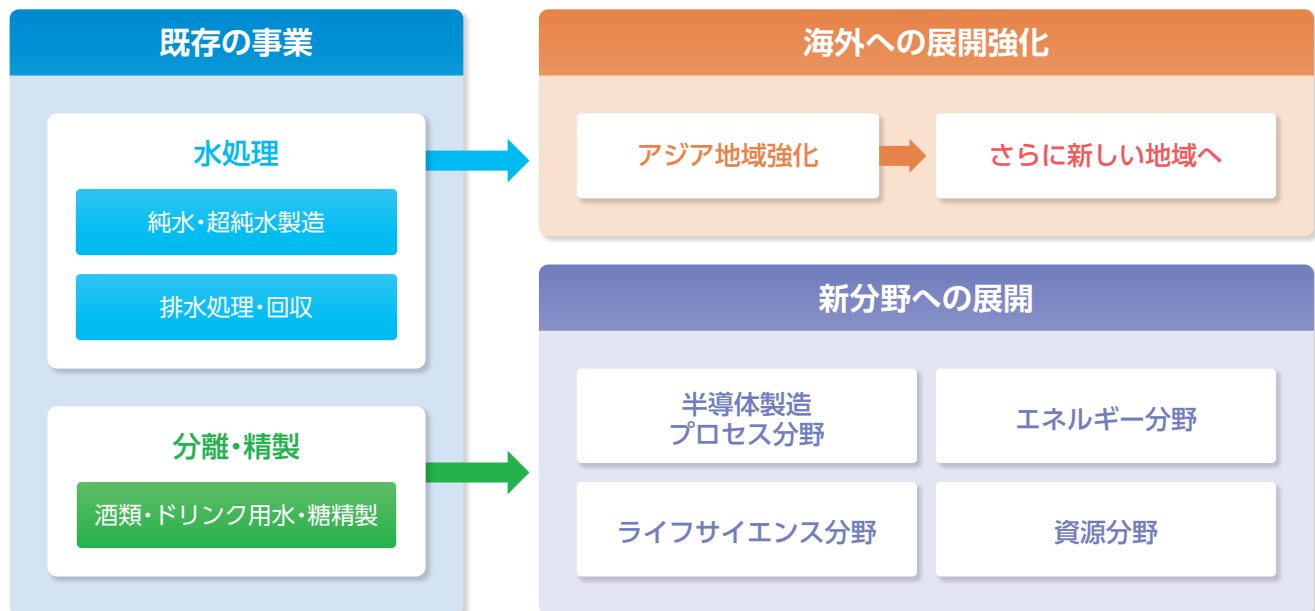
中期経営計画

当社グループは、常に3年先を見通した事業運営を継続するため、終了年度を固定せず毎年ローリングする中期経営計画に取り組んでいます。新たな中期経営計画では、これまで進めてきた経営ビジョンに中長期的な成長の礎を築くことを目的として、新しい事業創出を目指すビジョンを加え、以下の2つを経営ビジョンとしています。

◆ オルガノグループの経営ビジョン

- ・ 主要アジア経済圏において、電子分野をはじめとする産業に、最適な品質の水を、最も合理的なコストで、最もタイムリーに提供できる収益力あるエンジニアリング会社
- ・ 独自の分離精製プロセスにより次世代産業の価値創造を支える事業を創出する会社
- ・ 高付加価値の機能商品を生み出し続け、グローバルに展開する会社

◆ 中期経営計画の概要



なお、オルガノ企業行動指針は、当社ホームページで公表しています。

<https://www.organo.co.jp/company/ecology/>

当社の強み

分離精製のシステムとテクノロジー

水処理の対象は水道水、原材料水、洗浄用水、排水など多様ですが、共通しているのは、不要な成分を分離して除き、有用成分を高純度化すること。これを効率よく、高度に行うには、対象に合わせて最適なシステムを適用することが肝要です。ひとつの単位操作、例えば、ろ過やイオン交換だけでは不十分な場合、脱気やUV酸化、活性炭吸着なども組み合わせて、実際に使えるシステムを構築します。また長期間にわたって安定稼働させる機器で構成し、万一故障した際にもすぐに補修できる体制を整えていることや現実的なランニングコストで維持できることも重要な要件であり、それらを各条件に合わせて提案できることも当社の強みです。

分離精製とは

多成分を分けて、目的成分の純度を高めること。

主な単位操作

イオン交換

ろ過

吸着

蒸留

クロマトグラフィー

凝集沈殿

脱気

UV 殺菌

主な適用先

純水・
超純水製造

用水、
排水処理

上下水道

糖液、香料

電子材料、
ガス

有用金属、
フッ素回収

水、
エネルギー
回収

水処理で培った“分離精製”をキーワードにより技術を磨き、既存分野は基より、新たな分野への展開を推進します。



“分離精製”はオルガノのコア技術であり、その追及は使命。

目的に合わせて必要な成分と不要成分に分け、取り出す分離精製技術はオルガノがもつ基盤技術であり最大の強み。70年以上、水処理を中心に脈々と受け継がれ、適用分野を拡大しています。

産業の発展と共に水へのニーズは高まり、良質の水が大量に必要となりました。その用途によって要求される水質は千差万別です。オルガノでは最新の技術を組み込み、システムとして最適化し、お客様ごとに各々デザインしています。分離精製技術の適用先は純水や超純水製造、各種水処理や砂糖原料、焼酎原料の精製等多岐にわたります。

スマートフォン、液晶テレビ、パソコン、カメラ、金属製品、飲料や薬など、私たちに身近な製品は水なくして作ることはできません。微細な半導体や電気回路を清澄な超純水で洗浄したり、不純物のない安全な水を原料水としたり、モノづくりの分野で水は不可欠なものと言えます。

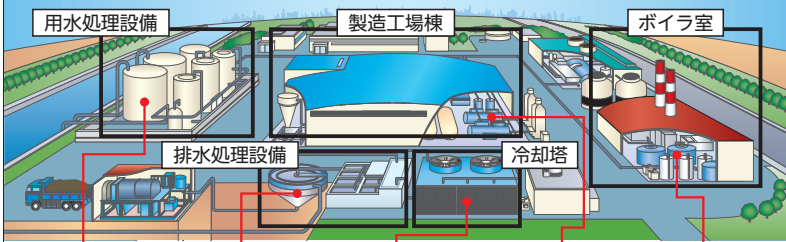
水の価値と機能を最大限に活かすこと。豊かな暮らしと水環境の保全を両立させること。これまでもこれからも、それがオルガノの使命です。

製品・サービス

求められる水量・水質を満たす製品および最適なシステムとサービス

プラント事業	主な対象分野
最先端の高度な技術を組み合わせた さまざまな用途に適する 水処理関連設備   ◆用水製造設備(純水、超純水等) ◆排水処理・排水回収設備 ◆有価物回収設備 ◆プロセス関連設備(糖類精製等)	電子産業分野 半導体／液晶／各種電子部品等 電力分野 火力発電所／原子力発電所等 上下水道分野 上水道／下水道 一般産業分野 食品／飲料／医薬／化学／機械等
ソリューション事業	
水処理設備の最適な運用を実現するソリューションを提供  ◆消耗品交換・メンテナンス ◆運転管理 ◆改造工事 ◆水処理加工受託	

機能商品事業

標準型機器・フィルター	水処理薬品
研究機関・病院などでの実験・ 分析・検査等に用いられる 高純度の水を提供  ピューリック・ピュアライトαシリーズ	 RO水処理薬品 スライムコントロール剤 スケール防止剤 排水処理薬品 凝集剤・栄養剤・ 消泡剤等 冷却水処理薬品 スライムコントロール剤 分散剤等 洗浄薬品 化学洗浄剤・ スライム剥離剤等 ボイラ水処理薬品 脱酸素剤・分散剤・ 清缶剤等 工場やビルでさまざまな用途に 最適な水質管理を実現できる薬品
フィルター	食品加工材
飲料水やコーヒーなどに 適した美味しく安全な水  ◆コンビニ・厨房・カップ式自販機 など向けの浄水フィルター等 オルガノフィルターD-4D	高齢者食、介護食市場や弁当・惣菜などの中食市場、機能性食品・栄養補助食品などに 向けた食品素材・食品添加剤など、時代の要請に応える食品加工材 ◆ゼリー、タレなど向けのゲル化剤、増粘剤 ◆たん白、食物繊維等の食品素材 等

当社製品の適用分野

純水、超純水製造や排水処理などの水処理装置・サービスは、発電所や上下水道等のインフラ関連、各種製造業、試験・研究機関等、様々な分野で利用されています。

【身近な製品に用いられる一例】

スマートフォンやタブレットを構成する電子部品にも製造過程で純水や超純水が使われています。



イメージセンサー
(カメラ)
タッチパネル
CPU、コンデンサ
フラッシュメモリ



暮らしを支えるオルガノの水処理技術

オルガノは水を活かす技術と環境に配慮したシステムで
日々の生活と産業の発展をサポートしています。

半導体・電子部品工場

精密部品の製造に必要な純水や超純水の供給、使用後の水をリサイクルする技術などを提供しています。

学校・研究所

飲用水やプール水の衛生管理、実験・研究用水など様々な水処理技術を提供しています。

住宅地

カップ飲料自販機や厨房用設備に浄水フィルターが採用されています。

病院

臨床検査や器具洗浄などに必要不可欠な純水・超純水を提供し、医療現場を支えています。

発電所

発電設備内の水質維持、各種排水処理などエネルギーの安定供給に貢献しています。

浄水場

濁りや匂いなどを除去し、安全でおいしい水道水をつくっています。

食品工場

食品・飲料の原料水、容器洗浄水のほか食品添加剤も供給しています。

化学プラント

各種製品の製造過程で不可欠な純水・超純水製造技術、環境に配慮した排水処理技術を提供しています。

ビル、ホテル

飲用水から空調・ボイラー用水、排水処理まで様々な場所で役立っています。

コンビニ、飲食店

水道直結の浄水フィルターでより安心な水をつくっています。

下水処理場

工場や家庭から出る排水を浄化し、自然にもどすお手伝いをしています。